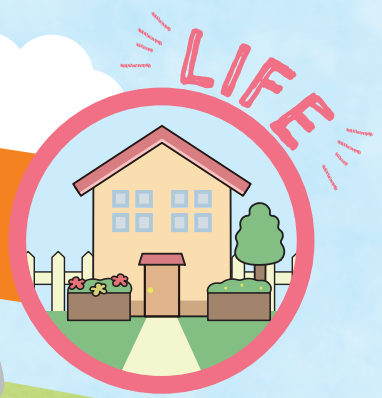




仕事と生活の調和

ワーク・ライフ・バランスが実現した社会をつくらう！



ワーク・ライフ・バランスに取り組むメリット

企業・事業所

- 優秀な人材の確保
- 生産性や売り上げの向上
- 事業所イメージや評価の向上 など

労働者

- 育児・介護との両立やスキルアップ、社会貢献による満足度の向上
- 仕事への意欲の向上
- 健康の保持増進 など

具体的には次のような社会を目指します

就労による経済的自立が可能な社会

経済的自立を必要とする方、とりわけ若者がいきいきと働くことができ、かつ、経済的に自立可能な働き方ができ、結婚や子育てに関する希望の実現などに向けて、暮らしの経済的基盤が確保できる。



健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会

働く人々の健康が保持され、家族や友人などの充実した時間、自己啓発や地域活動への参加のための時間などを持てる豊かな生活ができる。



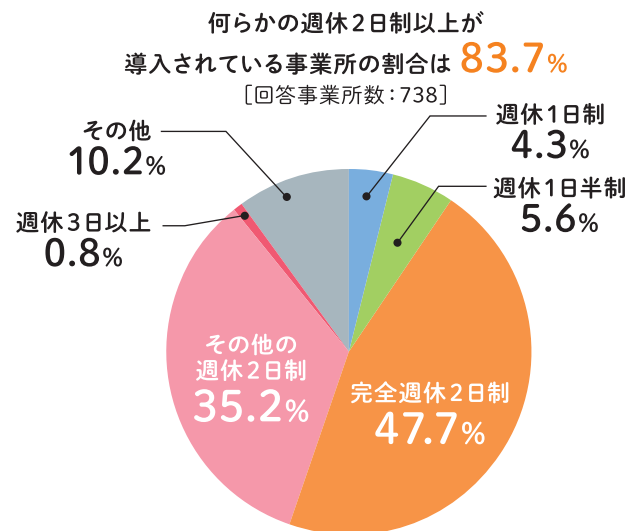
多様な働き方・生き方が選択できる社会

性や年齢などにかかわらず、誰もが自らの意欲と能力を持って様々な働き方や生き方に挑戦できる機会が提供されており、子育てや親の介護が必要な時期など個人の置かれた状況に応じて多様で柔軟な働き方が選択でき、しかも公正な処遇が確保されている。



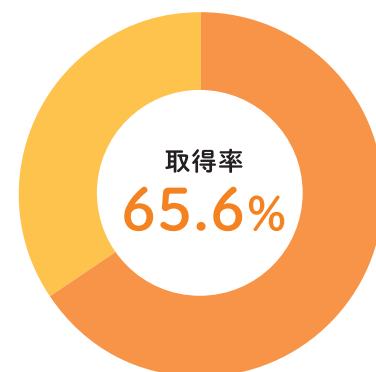
宮崎県におけるワーク・ライフ・バランスの現状

週休制の形態



年次有給休暇の取得状況

平均付与日数 **15.7日** | 平均取得日数 **10.3日**
[回答事業所数: 631]

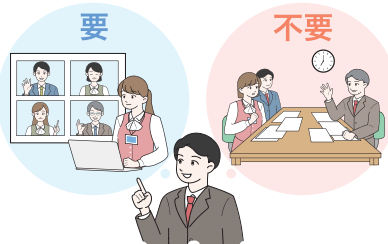


働き方の見直し例

業務の洗い出しとムダ取り

業務・作業のムダを見つけ、見つけたムダをなくします。

- 恒常化している業務の必要性を再検討する
- 社内資料・書類の削減
- 会議の削減・時間短縮 など



仕事の進め方を効率化し、働き方を見直しましょう。

業務フローの改善

どの業務から着手し、いつまでに、誰が行うのかを決めます。

- 業務の優先順位付け
- 業務のスケジュール化、進捗状況のチェックと反省
- 業務分担の適正化・平準化 など



従業員各自の業務効率化

業務の迅速化、従業員の能力開発等を図ります。

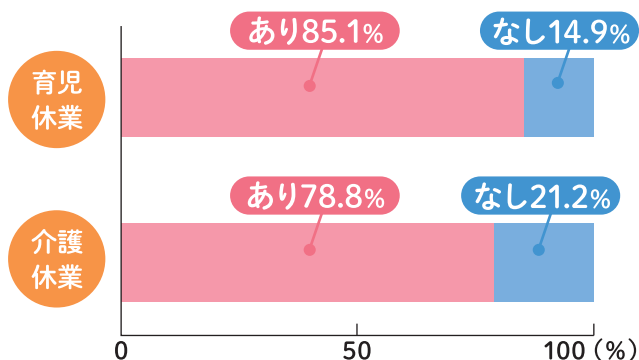
- 業務の標準化・マニュアル化
- 業務に集中できるオフィス環境づくり
- 「がんばるタイム」の設定
- コミュニケーションの効率化
- 時間管理ツールの導入
- 「仕事の進め方の具体的な効率化策」の共有 など



まずできることから実践してみましょう！

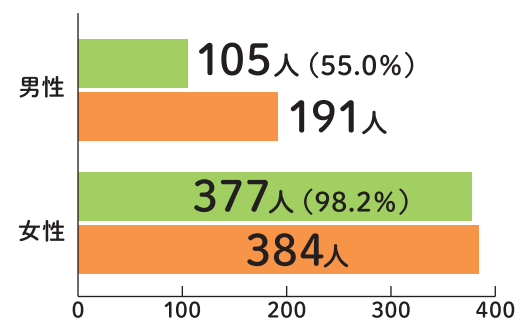
育児・介護休業制度の規定の有無

[回答事業所数: 育児休業734 介護休業728]



育児休業制度の利用状況

■ 令和6年8月31日までに育児休業を開始した者
■ 最近1年間に(配偶者が)出産した者



宮崎県「令和6年度労働条件等実態調査」より ※県内1200事業所を対象に、ワーク・ライフ・バランス等に関する取組状況の調査を実施